

[Before]



POINT
内張りを剥がしてDIYの準備完了!

Q 改造しても車検は通るの?
乗車定員を変更しなければ、車検は通る。変更しても4ナンバーの貨物自動車であれば、本拠地を管轄している運輸支局などで構造変更の手続きを行えばOK。ただし、5ナンバーの乗用車の場合は手続きが複雑になるため、まずはバンなどの小型貨物自動車から始めると敷居が低い。

POINT
制振材・遮熱シート・断熱材の順番に入れていく

家みたいなの

DIYで車中泊仕様に改造



松尾 颯さん

教えてくれたのは
キャンピングカーの製作を行う株式会社Renovan Japan代表。内装デザインから施工までを専門とし、車中泊仕様に改造するプロだ。

STEP 02

車内の快適さはここで決まる!

制振材・遮熱シート・断熱材

床、壁、天井それぞれに制振材→断熱シート→断熱材の順番で入れ、専用の工具で貼り付ける。「家に使われる「グラスウール」という断熱材を車に使用すると振動でガラスの破片が落ちてしまうため、発砲プラスチック系のものを選びましょう」。



おすすめ工具

カーサウンドデッドニングローラー
1580円

空気抜きを行い、防音材などをフィットさせる工具。ローラー部に突起があるものがお勧め。

dualmax



STEP 01

スペースを広く取るためには重要

内張りを剥がす

三角パネルなど手で外せるものは外し、ネジはすべて取る。その後「内張り剥がし」という専用の工具を使い、天井、壁、床の内張りを剥がす。前準備のような作業だが重要だ。「パネルが大きいので2人以上で作業するのがお勧めです」と松尾さん。

おすすめ工具

内張りをはがし
480円

車体に傷を付けない樹脂タイプを選びたい。4種の先端形状で、パネルに合わせて使い分けられる。

エーモン株式会社 amon.jp



これでできる!

4 STEP

[After]

車を作りたいたい!

自分の好きなものだけを詰め込み、ともに旅をするクルマはいわば「動く秘密基地」である。あの頃夢見た空間を実現するべく、DIYに挑戦してみたい。

使った車は

NISSAN
キャラバン



車内スペースが広く車中泊にはもってこい。福祉車両は手頃で狙い目だ。



POINT

幅の細い板を入ると車内が広く見える!

Q どうして板張りにするの?

ズバリ、おしゃれに見えるから。これが大きな理由だが、色や木目の豊富さも嬉しい。写真のようなライトブラウンはナチュラルな印象を演出し、ダークブラウンであればシックな印象に早変わり。さらに、ビスを打つのも簡単なため、ほかの装備を取り付けるのも楽。可能性が広がるのだ。

POINT

家具もライトブラウンで統一して明るい印象に

STEP 04

理想の空間を具現化する 家具を作る

内装の板と家具の色を合わせればオシャレ度アップ。スペースをフル活用するために採寸が重要だ。車内で作業を行うと失敗しづらくなるのだとか。「棚や机は挑戦しやすいですが難しい場合は購入してもOKです!」。

おすすめ工具

HiKOKI
ミニサンダ
1万8810円



1.1kgと軽量ですみずみまで研磨作業ができる優れもの。市販の家具を購入して塗装し直す場合にも便利だ。

HIKOKI hikoki-powertools.jp



STEP 03

全体の完成度を左右する 板張りをする

隙間ができないように板の幅を決め、中央から順番に取り付けていく。「緩い曲線が多いので難しい作業ですが、クルマの曲線に薄い段ボールを押し付けて角度を把握してから板の裁断を行うと失敗が少ないですよ」。

おすすめ工具

SHARE LINK
18V充電式マルチツール
2万1780円

ドライバーやノコギリなど8種のユニットを交換することで、多様な使い方ができる。



高儀
takagi-plc.co.jp

